



平成 19 年 1 月 31 日

各 位

会社名 ラオックス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 本多 利範  
(コード番号 8202 東証第 2 部)  
問合せ先 執行役員 広報 IR 室長 山下 巖  
(TEL 03-5446-5701)

### 平成 19 年 3 月期通期の業績予想修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、平成 18 年 12 月 26 日に「特別損失の発生及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」で公表した平成 19 年 3 月期通期（平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日）の業績予想を下記の通り修正いたしますのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 平成 19 年 3 月期通期業績予想数値の修正（平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日）

##### (1) 連結業績予想数値の修正

(単位：百万円、%)

	売 上 高	経 常 利 益	当期純利益
前回発表予想 (A)	91,500	272	4,942
今回修正予想 (B)	80,600	3,300	1,220
増減額 (B - A)	10,900	3,572	3,722
増減率 (%)	11.9	-	75.3
(ご参考) 前期実績 (平成 18 年 3 月期)	103,406	383	9,891

##### (2) 個別業績予想数値の修正

	売 上 高	経 常 利 益	当期純利益
前回発表予想 (A)	87,200	362	5,022
今回修正予想 (B)	76,100	2,830	1,600
増減額 (B - A)	11,100	3,192	3,422
増減率 (%)	12.8	-	68.1
(ご参考) 前期実績 (平成 18 年 3 月期)	98,596	248	8,950

### 3. 修正理由

#### (1) 連結業績予想の修正

売上高につきましては、パソコンの買い控えによる売上低迷や、暖冬の影響による季節性の高い商品の不振、新規出店店舗の期中売上貢献度が低かったことなどの要因により、目標を下方修正いたしました。

利益面におきましては、薄型テレビなどのデジタル商品を中心にした熾烈な価格競争による粗利率低下と、不稼働商品の処分による在庫の流動化により、粗利額の確保が予測を下回ると思われる状況を背景にして、業務改革の推進などにより、経費削減に努めましたが、粗利絶対額の下振れ部分を補うには至らないと予測いたしました。

なお、更なる業務改革を加速させるため、不稼働商品処分を最優先課題に売場の活性化を図る目的で商品仕入を絞り込むことにより、一時的に粗利率が低減する可能性を視野に入れ、営業利益・経常利益・当期純利益も修正いたしました。

#### (2) 個別業績予想の修正

連結業績予想の修正理由と同様の理由によるものであります。

(注) 今回の予想は、本資料の発表時現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、最終の業績は今後さまざまな要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上